

LP ガス原料費調整制度導入のご案内

お客様各位

H & T energy 株式会社

拝啓

平素より弊社の LP ガスをご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、弊社では、令和 6 年 8 月検針分の LP ガス料金から「原料費調整制度」を導入させていただくことになりました。

制度導入に伴い、8 月分の検針票、お知らせに当月の調整単価の表示が入ります。

また弊社ホームページ上でもご確認頂けます。

ご理解賜りますとともに、今後とも宜しくお願い致します。

敬具

●原料費調整制度導入の理由

LP ガス輸入価格は、ガス産油国が毎月決定する LP ガスの輸出価格や為替レートといった外的要因にて毎月変動しています。

現料金制度では弊社は出来る限り変動を自社で吸収し、LP ガスの輸入価格が大幅に変動した時のみ価格改定を実施してまいりました。しかしながら、一度の価格改定の幅が大きくなるため、お客様のご負担が大きくなる場合があり、また時期がずれることもあり、お客様にご迷惑をおかけしていた背景がございま

す。

●「原料費調整制度」とは

原料費調整制度は、お客様に対する料金の透明化や適正化のために、電力、都市ガス会社では、すでに導入されている制度です。

原料費とは、お客様にお使いいただいております LP ガスの輸入価格です。

「原料費調整制度」は LP ガスの輸入価格が変動した場合に、速やかにガス価格に反映させる制度です。輸入価格がさがればお客様へ還元でき、お客様へのメリットになるものです。また、毎月の LP ガス輸入価格につきましてはインターネット等でご覧になれますので、お客様に対して透明性があり「見える化」が可能な料金制度となります。

●単位料金の調整

LP ガス料金への適用は令和 6 年 8 月の検針分から実施させていただきます。

該当月の原料価格と、基準となる原料価格との差額を当月に調整させていただきます。

その価格変動に応じ、従量料金(1 m³あたりの料金)を調整いたします。

今後の LP ガス料金のご説明

原料費調整の算出方法

毎月の従量料金に対する原料費調整は、以下の算式に基づいて算出いたします。

$$\text{調整単価(円/m}^3\text{税抜)} = (\text{原料価格 円/トン} - \text{基準原料価格 円/トン}) \div 1,000 \text{ kg} \div 0.482(\text{産気率})$$

- ・原料価格：(検針月の前月、前々月の2カ月平均 CP70% + 前々月の MB30%) × TTS
- ・CPとは、サウジアラビア国営石油企業の通告価格です。
- ・MBとは、米国の LP ガス輸入価格(モントベルビュー)です。
- ・TTSとは、円から外貨への為替レート。検針月の前々月の15日×分(三菱 UFJ TTS)を適用致します。
- ・産気率とは、プロパンガス重量(kg)から体積(m³)への変換率です。

※基準原材料価格は 94.5 円/m³(2019 年 10 月輸入価格)を基準とします。

$$\text{CP420 \$} \times \text{TTS108.45 円/\$} \div 1,000 \text{ kg} \div 0.482 = 94.5 \text{ 円/m}^3$$

【ガス料金の計算式】

$$\text{ガス料金(税込)} = (\text{基本料金} + \text{ガスご使用量} \times (\text{従量料金単価} \pm \text{調整単価})) \times \text{消費税率}$$

お客様の基準となる料金表については同封している料金表をご覧ください。

※ご不明な点がございましたら、弊社までお問合せください。

弊社では、従来にも増してより安全に、より快適に LP ガスをご利用いただけるように努めてまいります。今

後とも倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。